



夢風

YUMEKAZE

第111号（平成30年度 No.9）



みなさん、夢風によろこそ。

平成最後の年を迎え、1か月が過ぎました。本年も夢風をよろしくお願ひします。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 「東高の思い出を語る会」

挙母高等女学校を前身とする豊田東高校は、2007年4月、男女共学となり、御立町へ校舎を移転しました。小坂本町には今も校舎が残っていますが、跡地での豊田市博物館計画（仮称）が進められています。そこで、卒業生や旧職員に旧校舎の記憶をお聞きするため、12月8日（土）に「東高の思い出を語る会」を開催しました。

豊田市教育委員会と本校が企画したこの会には、卒業生や旧職員など約160名が参加しました。普段は入ることのできない旧校舎内を見学して「校舎へ向かう乙女坂の桜がきれいだった」、「和作室でお茶をたてるLTがあった」など、思い出話に花を咲かせていました。3年間通った校舎がなくなる寂しさを感じつつ、校舎を見学することで気持ちに整理がついたという声も聞かれました。また、美術部と写真・科学部（写真班）の生徒が、校舎内の様子を記録しました。



現校舎に移動しての開会式では、本校校長と豊田市教育委員会の挨拶の後、箏曲部と合唱部が日頃の活動成果を披露しました。特に、校歌の三部合唱は、参加者の皆さんを高

校時代に引き戻したようです。口ずさむ方もいらっしやいました。その後、1・2年生のボランティア生徒による校舎案内と、3年生の就職先内定者が旧校舎時代の思い出について聞き取りを実施しました。旧校舎を見学して旧友や恩師と再会した後だったので、当時のことが鮮明に思い出されたようです。本校生徒も、現在の東高との違いを興味深く聞いていました。

2月10日（日）には、「第2回今考えるみんなでつくる博物館（主催：豊田市教育委員会）」が豊田産業文化センターで開催されます。聞き取りをした3年生が、今回の「思い出を語る会」の報告や、新博物館への提案をプレゼンテーションします。また、未来へ記憶を紡ぐ「豊田東高思い出クロニクル」と題し、パネル展示も行います。



演劇部（上写真）や書道部は、旧校舎時代に長く顧問を務めていた先生から話を伺いました。



● 八日市ボランティア

毎月8日に桜町本通り商店街で実施されている八日市には、学校が休みの日に本校生徒がボランティアとして参加しています。12月8日（土）は、本校が参加できる今年度最後の八日市でした。ボランティア生徒が五平餅や野菜の販売を手伝い、吹奏楽部、合唱部、箏曲部が青空コンサートを開催しました。

また、この日は、街路灯用フラッグ優秀作品の表彰式も行なわれました。桜町本通り商店街から制作依頼を受け、ビジネス



プランの3年生が「マーケティング」と「ビジネス実務」の授業の中で、三色しか使用できないという条件に悪戦苦闘しながらも、構想からデザイン作成までを行ったものです。最優秀賞に選ばれた山崎花奈さん（3年2組）と津下萌花さん（3年3組）考案のフラッグが、商店街に掲げられています。



● レッドリボンメッセージコンサート&街頭キャンペーン

12月1日の世界エイズデーに合わせ、豊田市と国際ソロプチミスト豊田が毎年HIV・エイズ予防啓発活動を行っています。

12月15日（土）には、ペDESTリアンデッキ広場でレッドリボンメッセージコンサート&街頭キャンペーンが開催さ



れ、JRC部、合唱部、吹奏楽部が参加しました。コンサート前に街頭でソロプチミストの皆さんと

啓発物品を配布し、JRC部はメッセージボードを使ってエイズに関する正しい知識やエイズ患者のメッセージを発表しました。合唱部の歌声と吹奏楽部の演奏は澄んだ冬空に響き渡り、多くの拍手をいただきました。



UNESCO Associated Schools

豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。